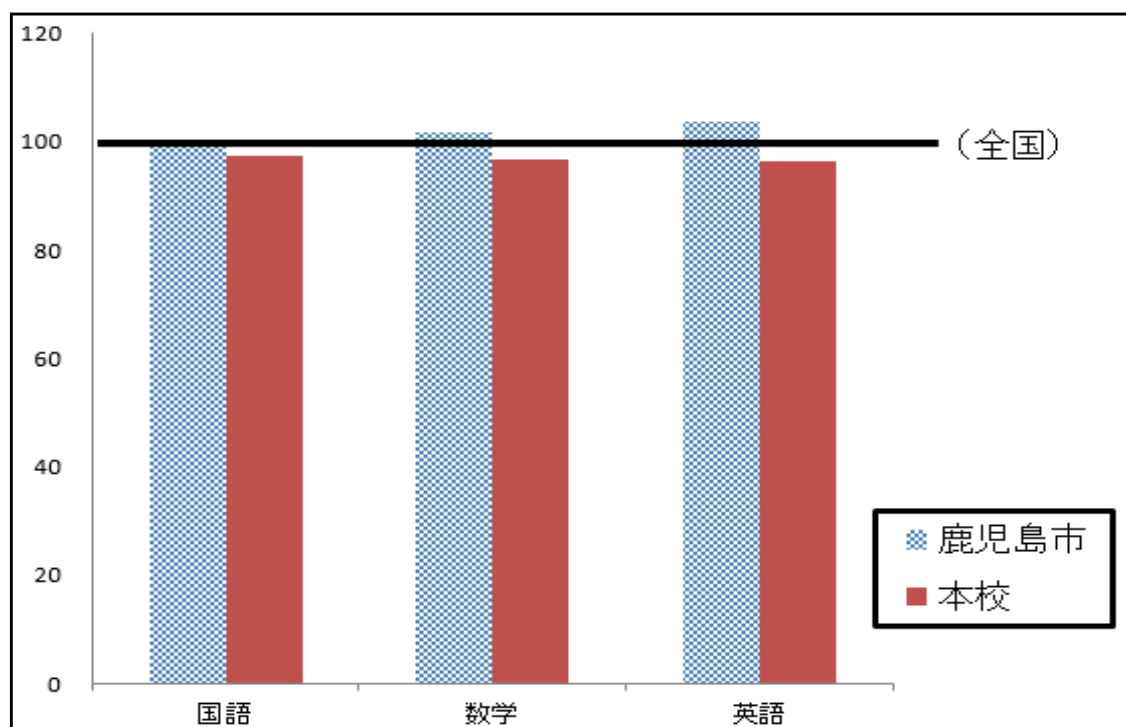


～令和元年度全国学力・学習状況調査の結果を受けて～

全国学力・学習状況調査（平成31年4月実施，3年生対象，国語，数学，英語）の結果及び改善策をお知らせします。

1 本校・市・全国の平均正答率の比較（全国平均正答率を100とする棒グラフ）



2 本校の課題に対する改善策

平均正答率を比較すると，国語・数学・英語ともに全国・市より若干低い結果となりました。

国語は，読むことや書くことは全国とほぼ同じでしたが，話すこと・聞くことにおいて努力を要する結果となりました。授業の中で話し合い活動を充実させ，自分の考えを分かりやすく相手に伝えられるように話し合いの質を高めていきます。

数学は，資料の活用については全国を上回りましたが，数と式の領域において努力を要する結果となりました。毎時間の課題や小テスト等の内容を工夫して定着を図ります。

英語は，読むことは全国とほぼ同じでしたが，話すこと，書くことにおいて努力を要する結果となりました。英語で発問をする機会を増やし，英単語や基本文について繰り返し学習することで定着を図ります。

生徒質問紙の結果より，本校の生徒はいじめ問題に対する意識が高く，読書好きで計画的な学習をしている生徒が多いという結果になりました。一方で，難しいことに失敗を恐れず挑戦する経験が不足している傾向にあるようです。今後，計画的な学習についての指導を充実させるとともに，学習活動だけでなく様々な行事や体験活動等を通して困難を乗り越える体験をさせていきます。

学力向上には家庭学習も重要です。ご家庭でも基本的な生活習慣の確立や家庭学習90分以上の実施，学習課題の提出等，励ましと見届けのご協力をお願いいたします。